

福井県公安委員会 開催概要

令和3年5月13日開催 「定例公安委員会」

会議状況

1 包括的案件

〈報告事項〉

(1) 強制わいせつ事件の検挙

県警察から、本年4月に発生した強制わいせつ事件の検挙について報告があった。

委員から「被害者に精神的後遺症が残る可能性がある悪質な事件を、早期に検挙することができて本当に良かった。閑散とした時間帯での事件で、捜査において防犯カメラ映像が役に立ったことから、今後も増設の推進をお願いしたい。」との発言があった。

委員から「防犯カメラの威力が発揮でき、うまく活用できた事件だと思う。防犯カメラを活用した捜査は、今後ますます多様化していくと思うので、適切に対処できるよう捜査員に対する指導・教養をしていただきたい。」との発言があった。

委員から「今回の事件のように、防犯カメラが設置されていることで、早期検挙や事件抑止につながるが、防犯カメラの設置数は少ない。設置数を増やすには助成等が有効だと思うが、制度があまり周知されていないように思える。あらゆる機会を通じて自治会や企業に周知して行ってほしい。」との発言があった。

(2) 危険物対策の推進

県警察から、危険物対策の推進について報告があった。

委員から「銃の一斉検査や立入検査が、毎年行われていることに心強く思う。テロや凶悪事件につながることはないよう、徹底した管理をお願いしたい。」との発言があった。

委員から「最近、熊などの獣害が多いので、銃を使用する機会も多いと思う。日頃から指導などを徹底してほしい。火薬についても、北陸新幹線や中部縦貫道の大規模な工事が一斉に行われていることから、大量の火薬が福井県に持ち込まれていると思われるので、徹底した検査をお願いしたい。」との発言があった。

委員から「銃の所持者は年々減少しているとのことだが、銃の管理は重要なので、徹底した検査、指導を実施するとともに、火薬類輸送時の管理についても指導していただきたい。」との発言があった。



(2) 春の行楽期における交通事故抑止対策の実施結果

県警察から、春の行楽期における自動二輪車に対する交通事故抑止対策の実施結果について報告があった。

委員から「犬が話す動画はとても印象に残った。とても分かりやすく良いと思う。今後も工夫を凝らしたツイッターなど、SNSを活用した情報発信を推進していただき、交通事故抑止につなげていただきたい。」との発言があった。

委員から「期間中、二輪車による交通死亡事故がなかったのは良かった。過去データの分析結果を活用し、うまく対策に結びつけたと思う。更に詳細に分析することで、交通死亡事故の目標値の達成が可能になると思う。」との発言があった。

委員から「春の行楽期には県外の観光客が多いことから、県外の方にも交通事故抑止対策を周知できるように、観光地等で白バイ走行のデモンストレーションなど、目を引くイベントを取り入れた広報の方法もよいのではないかと思う。」との発言があった。

2 個別決裁等

(1) 公安委員会規則の制定

警察行政手続サイトの運用に伴う都道府県公安委員会規則等の制定について報告を受けた。

(2) 警察職員及び警察航空機の援助要求

石川県公安委員会からの警察職員及び警察航空機の援助要請について説明を受け、これを決裁した。

(3) 糸生駐在所の火災発生

本年4月に発生した鯖江警察署糸生駐在所の火災発生について報告を受けた。

(4) 警察職員の援助要求

関係県公安委員会に対する警察職員の援助要求について説明を受け、これを決裁した。

(5) 警察職員の援助要求の同意

オリンピック、パラリンピック競技大会にかかる警察職員の援助要求に対する同意について説明を受け、これを決裁した。

(6) 公安委員会あて苦情受理

公安委員会に寄せられた苦情申出書の受理について説明を受け、これを決裁した。

3 運転免許の処分関係

本日（5月13日）実施した道路交通法違反等に関する意見の聴取等9件の実施結果と処分内容に関する説明を受け、原案のとおりこれを決定した。